

令和7年度 第2回 吹田市政策調整会議概要

日 時:令和7年(2025年)9月2日(火)午前10時～午前11時

場 所:吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

出席者:春藤副市長、辰谷副市長、山下総務部長、今峰行政経営部長

所 管:【土木部（公園みどり室、道路室）】

真壁土木部長、野口次長

（公園みどり室）横井室長、陣門参事、小原参事、尾崎参事、川本主幹、
白井主査

（道路室）染川室長、溝口参事

案 件	公園・道路における樹木等管理業務に係る包括的民間委託の一部エリアでの試行実施について
担当及び関連部局	土木部(公園みどり室、道路室)
【案件概要】 土木部（公園みどり室、道路室）が行っている樹木等管理業務について、一体的に捉え、より効果的・効率的な維持管理を推進するため、官民連携手法（PPP/PFI 手法）の一つである包括的民間委託を、一部エリアで試行実施しようとするもの。	
【所管部の考え方】 これまでの吹田市における公園、道路等の維持管理経験、知識を有する民間事業者と連携を図り、各業務を複数年で包括的に委託することにより、民間事業者のノウハウを活かし、効果的・効率的な維持管理を推進しようとするもの。 なお、市域全域を一度に包括委託するのではなく、千里南公園エリアにて、試行実施を行い、その成果を検証し、段階的に包括委託範囲を拡大していくことも視野に入れるもの。	
【質疑概要】 質問： 芦屋市、守口市は、一部エリアのみでなく、全地域において包括的民間委託を実施しているのか。窓口業務も含まれているのか。 回答： 窓口業務も含め、全地域において実施している。 質問： 包括的民間委託を実施するエリアや委託業務の範囲の拡大について検討しているのか。 回答： 今回の検証を踏まえ、段階的な拡大を検討している。 質問： 段階的に拡大していくとのことだが、期間が長くはないか。 回答： 事業者間にて、異業種連携の調整を慎重に進めるには、短期間で拡大させることは難しいと考える。市の現業職の高齢化や担い手の減少も踏まえて、今後の方向性を定めるものである。	

質問： 資料2のグラフは、全地域における公園での内容か。

回答： 試行実施予定である千里南公園エリアだけの内容である。

質問： 包括的民間委託の実施により、人件費も削減となるのではないのか。

回答： 全ての業務を委託対象とするわけではないことや、複数異業種との調整の発生により、現時点で人件費の削減額を示すのが難しい。

意見： 今後、企画財政室にて、具体的な実施計画や予算案、職員体制を確認させていただく中で、ビフォーアフターの数字をしっかりと確認したい。

予算でいうと、既存予算のうち、どれだけを従来手法側の事業費として残し、どれだけを包括側の委託料に積算するのか。

職員体制でいうと、既存の直営業務のうち、どれだけが残って、どれだけが包括に担い手変更され、どれだけが不要となるのか。

それぞれ、全体の母数と、そのうち試行エリアが占める割合、実績について、公園、道路それぞれ、実績や推計を細かく確認する。

意見： 様々な事業者の思いがある中で、包括的民間委託を一気に進めることは容易ではない。これまでの市と事業者との関係を崩さずに、市内事業者を育成していくことも重要である。同時に財政的負担とのバランスなども考慮して、持続可能な業務となるようにすべき。

【結果】

本件は、承認された。会議での意見を踏まえて取組を進めること。